

# としよ 図書ホールだより

令和4年6月17日  
横浜市立立野小学校  
学校司書堀口裕見子

一日の長さがずいぶん長く感じられる頃となりました。梅雨入りとなり、雨の日も多いですね。雨に打たれた紫陽花の花の紫がとても美しく感じられます。正岡子規の俳句に「紫陽花や 赤に化けたる 雨上り」という句があります。藍色だった紫陽花の花が、雨が上がると赤に変わっていたという意味です。雨に打たれた紫陽花の花が鮮やかに思い浮かびます。情緒を感じさせてくれる味わいのある句ですね。

図書委員会では6月20日から雨の日プロジェクトを行います。さまざまな催しを準備してみなさんを待っています。ぜひ、来てくださいね。



## ☆雨の日プロジェクトはこんなことをします☆

### としよいいんかい 図書委員会

#### おすすめの本のポスター

月曜日の図書委員はおすすめの本のポスターを作ってくれました。どんな本をおすすめしてくれるのかな。図書ホールに来て、見てみてくださいね。



#### 朗読

火曜日の図書委員は昼休みに本の朗読をしてくれます。今回の朗読する本はことわざに関する本です。どんなお話が楽しみにしてくださいね。

#### 本の福袋とスタンプラリー

水曜日の図書委員は本の福袋とスタンプラリーを作ってくれました。図書委員は、どんな本を選んでくれるのかな。楽しみですね。

#### 本のくじ引き

木曜日の図書委員は、本のくじ引きを作ってくれました。くじ引きで当たった本を貸し出します。どんな本が当たるかな。楽しみですね。

#### 読まれている本ランキング

金曜日の図書委員は、図書ホールで読まれている本のランキングを調べてくれました。どんな本がたくさん読まれているのかな。ポスターを見てみてね。

## よ き 読み聞かせボランティアさん

よ き  
読み聞かせボランティアさんが、7月から本のよ き  
読み聞かせ、あるいは、よ き  
読み聞かせ動画の放映をしてくだ  
さいます。たの  
しみながら聞きましょう。



## かだいとしょ としょ ★課題図書が図書ホールに入りました★

### ていがくねん ぶ 【低学年の部】

#### 「つくしちゃんとおねえちゃん」 91/い

いとみく ざく だんじようこ え ぶくいんかんしよてん  
丹地陽子 絵 福音館書店

つくしちゃんのおねえちゃんは、ちょっといばりんぼうだけど、とっても頭がよくて物知り。自慢のおねえちゃんだ。おねえちゃんはみぎあし ぶじゆうで、あるときすこしひきずる。つくしちゃんが「重い荷物を持つよ。」というとおねえちゃんはしょうがく ねんせい 小学2年生のつくしちゃんに持たせるのはかわいそうと思い「ちびだから無理」と言って…。お互いを思いやる家族の心 温まる日常を描く。

#### 「ばあばにえがおをとどけてあげる」 E/フ

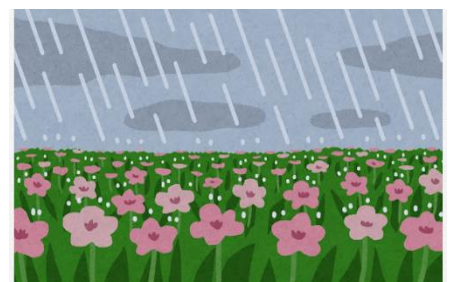
コーリン・アーヴェリス ぶん イザベル・フォラス え ひょうろんしゃ  
文 イザベル・フォラス 絵 評論社

ファーンは、ばあばが大好きな女の子。特にばあばのえがお だいすきだ。でも、このごろ、ばあばは、げんきがない。ママは、ばあばのじんせい しょうご 人生から喜びが消えてしまったみたいだという。だったら、その喜びを取り戻してあげよう。ファーンはばあばにしょうご 喜びを届けるためにしょうご 喜びをつかまえようとするがつかまらなくて…。

#### 「すうがくでせかいをみるの」 E/た

ミゲル・タンコ ざく ほるぶ しかく  
ミゲル・タンコ 作 ほるぶ出版

パパはえをか かくことが好き。お兄ちゃんはおんがく 好き。ママは…。好きなことがあるっていいなと思った私は、いろいろなことにちょうせん する。そして、見つけたのがすうがく。すうがく 数学って楽しい。数や形を見つけて遊ぶのってたの 楽しいもの。自分の好きなことを見つけることをおうえん する本。



りめん  
(裏面あり)

## 「おすしやさんにいらっしゅい！ 生きものが食べものになるまで」 E/え

おかだだいすけ 文 遠藤宏 写真 岩崎書店

海で獲れた魚やイカが、調理され、お寿司になって私たちが食するまでの過程を分かりやすい解説と鮮やかな写真で解説する。人はかけがえのない命をいただいて生かされていることを教えてくれる本。

## 【中学年の部】

### 「みんなのためいき図鑑」 E/む

むらかみ 村上しいこ 作 中田いくみ 絵 童心社

コーシロー、タノチン、小雪、七保と加世堂ゆらのグループは、授業でオリジナル図鑑を作ることになったが、どんな図鑑にするのなかなか決まらない。みんなから、どんな図鑑にするのか考えてきてほしいと頼まれたタノチンが何にしようと考えていると、加世堂ゆらにもらったイラスト画からためいき小僧が飛び出して…。

### 「チョコレートタッチ」 91/き

パトリック・スキン・キャトリング 作 伊津野果地 絵 文研出版

ジョンはたいてい良くできたいい子だったが、お菓子が大好きで、きちんとした食習慣ができていないという欠点があった。ある日、道で拾ったコインを使い不思議なお菓子屋さんでチョコレートをかう。家で食べると不思議なことが起こって…。

### 「111本の木」 E/フ

リナ・シン 文 マリアンヌ・フェラー 絵 光村教育図書

インドのある村では男の子が生まれると鍋やフライパンをたたいてお祝いするが、女の子が生まれると静まり返る。女の子は結婚するときに、持参金がかかるうえに、相手の家の財産になってしまうからだという。この村の村長になったスンドルさんは「女の子が生まれたら、111本の木を植えてお祝いしよう。18歳になるまで結婚はさせず大切に育てよう」と呼び掛けた。ジェンダーや環境破壊について考えさせられる本。

### 「この世界からサイがいなくなってしまう：アフリカでサイを守る人たち」 91/み

みたむらたろう 文 学研プラス

20世紀の初め、世界に50万頭いると言われていたサイ。しかし、今は、サイは2万7千頭しかいない。まさに、種の保存が危ぶまれている絶滅危惧種である。サイはその角が薬になると信じられていて、その角を高く売ろうとする密漁者によってその命を奪われている。この本は、NHKのヨハネスブルグ支局長としてアフリカの諸問題取材してきた著者による環境ノンフィクションである。



「りんごの木を植えて」 91/お

おおたにみわこ さく しらいし へい ポプラ社

みずほは小学5年生の女の子。3年前、建て替えられたお母さんの実家である2世帯住宅に引っ越してきた。おじいちゃんとおばあちゃん、お父さんお母さんお兄ちゃんの6人家族だ。家族6人平和に、穏やかに、暮らしていた。そんなある日、おじいちゃんのがんが再発する。直すための治療を受けてほしいと思う家族の思いに反しおじいちゃんは治療を拒否して……。

「風の神送れよ」 91/く

くまがいちよこ さく しゅん え こみねしよてん

優斗の住む長野県の南部にある宇野原地区には、毎年2月子どもたちが中心となって行う「コト八日」という年中行事がある。家々に居座って悪さをする疫病神を集めて村はずれに追い出す行事で、もう400年も続いている。最年長のリーダーは頭取と呼ばれ、その1歳下くらいの子が補佐となり、みんなをまとめながら行事を進めていく。今年は中1の凌さんが頭取になり補佐が優斗だ。ところが凌さんが骨折してしまって…。

「ぼくの弱虫をなおすには」 91/こ

K・L・ゴイーグ さく はやかわよし お え

ゲイブリエルとフリータは大の仲よし、親友だ。今日、修了証書をもらえば、もう来年度からは5年生のはず。でもゲイブリエルは、5年生になりたくない。なぜなら、5年生になると、いじめっ子の6年生と同じ校舎になり、またいじめられるのが不安だからだ。そんなゲイブリエルを心配したフリータの提案でゲイブリエルは弱虫克服のための作戦に挑戦することにするのだが…。

「捨てないパン屋の挑戦：しあわせのレシピ」 91/い

い てる み ちよ あかね書房

主人公の田村さんは、大学生のころ出会ったS先生による環境生物学の授業に深く感銘し、環境問題の専門家になろうとした。それは、小学生のころ、大切な場所であった裏山が削られ壊された悲しい経験が根底にあったからだ。しかし、環境問題の仕事はなかなかなく、就職するのは大変難しかった。仕方なく、田村さんは大嫌いで継ぐつもりでなかった実家のパン屋さんで働くこととなる。パン嫌いのパン屋さんが捨てないパン屋さんになるまでの物語。

